



デジタル社会を、  
幸せな社会へ。  
ITサービスのシステナ

第33期

中間株主通信

平成26年4月1日～平成26年9月30日

事業概要 8つの事業が連携しALLシステナとして、ITに関する幅広い領域で



トータル・ソリューション・サービス

企画・提案

設計

開発・構築

導入

教育

ヘルプデスク

運用・保守

# 企画から保守までのトータル・ソリューション・サービスを提供しています。

### ソリューションデザイン事業

#### サービスソリューション事業



スマホアプリやWebアプリの開発は勿論のこと、スマートデバイスを利用したネットビジネスの企画から設計・開発・運用までを一貫してサポートしています。

#### クオリティデザイン事業



スマホアプリやWebアプリの性能評価・品質検証、サービスプロバイダー向けのサーバー監視・運用サービスを行っています。

主要顧客：通信キャリア、通信機器メーカー、インターネットビジネス企業

### フレームワークデザイン事業※



金融機関を中心とした基幹・周辺システムの開発およびアプリケーションプラットフォームの設計・構築を行っています。

主要顧客：損保、生保、銀行

### ITサービス事業



システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク、データ入力、大量出力など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを行っています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業、官公庁

### ソリューション営業



サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスを提供しています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業

### クラウド事業



「Google Apps」、 「Microsoft Office 365」などのクラウド型サービスの提供や導入支援を行っています。また、独自サービス「cloudstep」を展開しています。

主要顧客：一般事業法人  
(中堅から大企業まで)

### コンシューマサービス事業



グループ会社の株式会社GaYaが主体の事業で、スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供を行っています。

主要顧客：SNSサイト運営会社、一般個人

### 海外事業



成長著しいASEAN諸国やIT先進国の北米において、モバイルデータ通信を使った各種ソリューションを提供しています。

主要顧客：日系企業、タイ企業、通信キャリア、通信機器メーカー

※平成26年10月、「金融・基盤システム事業」を「フレームワークデザイン事業」に名称変更しました。

# 株主の皆様へ — 第33期第2四半期の連結業績概況

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第33期第2四半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



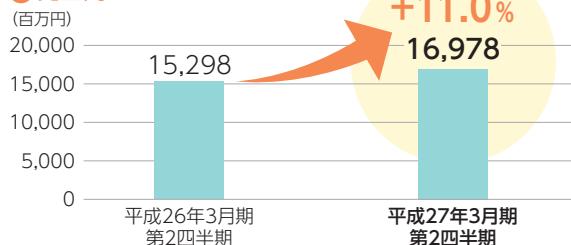
平成26年12月  
代表取締役社長 逸見 愛親

## 業績概況

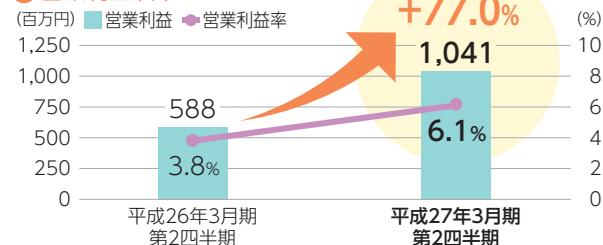
### 売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益

ビジネスモデルの再構築の期と位置付け、陳腐化したビジネスモデルを一新し、サービスを絡めたソリューション営業と、付加価値の高いITマネジメントビジネス、成長著しいスマホアプリ、自動車関連市場やセキュリティ分野への経営資源の再配置ならびにビジネスモデルの転換を図った結果、新規顧客の増加と収益力の向上により、売上、利益ともに前年同期比で増収・増益となりました。

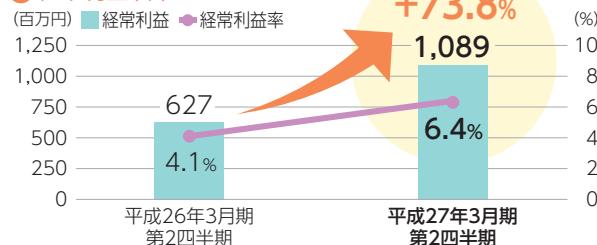
#### ●売上高



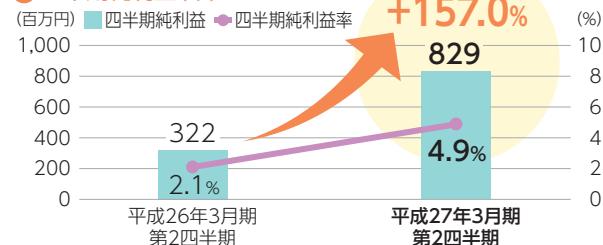
#### ●営業利益(率)



#### ●経常利益(率)



#### ●四半期純利益(率)



## 各事業の概況

### ソリューションデザイン

#### サービスソリューション

開発リソースの成長分野へのシフトを推進し、通信キャリアにおけるインターネットサービスをはじめ、インターネットを利用したサービス、ゲーム、証券、教育、社会インフラといった分野で好調に受注を増やしたほか、組込み系分野でモバイル端末開発の豊富なノウハウと実績が評価され、情報家電やホームセキュリティ、車載関連の引き合いが増えています。

#### クオリティデザイン

各種スマートデバイスやWebサービスの分野で培った豊富なノウハウと実績を活かして、公共系、サービス系、システム系、ネットワーク系、ロボット系および決済系の分野へと展開しています。

### フレームワークデザイン

四半世紀以上にわたり培ってきた金融機関向けシステム開発のノウハウや実績を基に、より広範囲な業種に向けてサービスの提供を行うことを目的として、「金融・基盤システム事業」から「フレームワークデザイン事業」へ名称変更し、収益機会の拡大を図っています。

### ITサービス

ソリューション営業本部の豊富な顧客に対するITサービス全般の提案活動に継続的に取り組む中で、クライアントPCのリプレイス対応などのスポット案件や、社内システムサポートの長期継続案件など、新規受注が増加し、取引の拡大につながりました。

### ソリューション営業

システム開発部門やITサービス部門との連携も進み、機器販売からインフラ構築、システム開発、保守運用に至るワンストップサービス案件が増加したことにより、売上が拡大しました。また、新規顧客の開拓も進み、顧客基盤が一層強化されたことにより、今後のサービス売上の拡大も見込める状況になっています。

### クラウド

主力取扱商品「Google Apps」と組み合わせて提供する「cloudstep」シリーズの拡充が奏功し、数多くの新規案件獲得とともに既存契約の更新も順調に進みました。

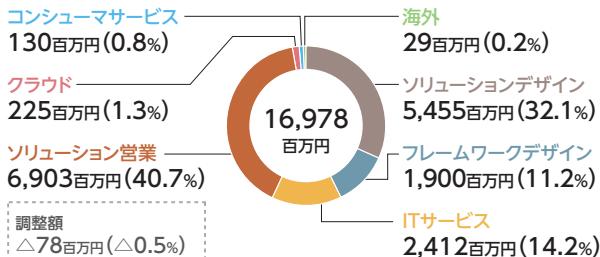
### コンシューマサービス

自社タイトルの内容拡充、他社タイトルの運営の巻き取りおよび他プラットフォームへの横展開を実施し、取引の拡大を進めたことにより、黒字基調が定着しました。

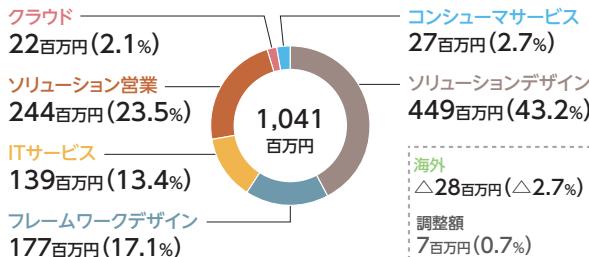
### 海外

タイでは、スマートフォン向けにバンコク版レストラン検索アプリ「バングル」のサービスを開始しました。一方、アメリカでは、設立当初に既に受注を見込んでいた大手通信キャリアとメーカーからの受注に加え、複数の通信キャリアとメーカーからの受注と引き合いを頂き、現地での採用を拡大しています。また、ベトナムにオフショア開発・検証評価・保守運用等のITサービスを行う現地法人を設立しました。

#### ●セグメント別売上高(構成比)



#### ●セグメント別営業利益(構成比)



# システナ TVCM



Yokohama

Daiba

Shiodome

広くシステナを知っていただくために、テレビCMを始めました。

システナグループの魅力は、まさにそこで働く「人」。

ですから、本物の社員一人ひとりがCMの主人公として登場します。

真剣で、ひたむきで、時には笑顔で働く姿を、フィーチャーしました。

クールで理屈っぽいデジタル社会のイメージと違い、システナは「人のぬくもりを感じる」会社であることを一番に伝えたいと考えました。

バックに流れる音楽は、当社の理念にもつながる

「誰かに笑顔になってもらうことの喜び」を表現した、

槇原敬之さんの『僕が一番欲しかったもの』です。

フジテレビ系列「めざましテレビ」「すぽると」「新報道2001」など、

多数の番組に提供しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.systema.co.jp/about/gallery.html>

## システナのテレビCMは もうご覧になりましたか？



# Web Shelter® for Automotiveを開発!

金融機関やECサイト運営事業者向けに提供しているセキュリティ対策ソフト「Web Shelter®」を搭載した車載向けセキュリティソリューションを開発いたしました。

カーナビやAV機器等において近年Android®や組み込みLinux®等のオープンプラットフォームの採用が進んできています。このことから一般的なIT機器(PCやスマートフォン等)と同様の脅威、脆弱性が存在する可能性が考えられます。「Web Shelter® for Automotive」は、全ての脅威、脆弱性に対応し、セキュアなカーライフを実現できるソリューションです。

ユーザが安心して利用できる車載機をご提供します



クラッキング行為



不正アプリ  
不正コンテンツ

## 特長

- ▶ 車外への通信で扱われるビッグデータ、車の位置情報、個人情報の漏えいをガード
- ▶ メーカーやサービス業者などが構築するエコシステムを展開するサーバーの真正性のチェック
- ▶ セキュアな車内外通信の保障
- ▶ 悪意のあるアプリケーションの侵入の阻止

## 「第4回 スマートフォン&モバイルEXPO [秋]」への出展

平成26年10月29日(水)から31日(金)までの3日間、幕張メッセで開催された「第4回 スマートフォン&モバイルEXPO [秋]」に出展しました。スマートデバイスを利用したエンタープライズ製品を中心に、様々なソリューションを展示するとともに、ブース内でデモンストレーションを行い、多数の来場者の方に最先端の技術をご覧いただきました。



# 財務諸表 (連結)

## 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
<b>流動資産合計</b>	<b>14,892</b>	<b>15,207</b>
現金及び預金	5,358	5,235
受取手形及び売掛金	7,696	8,465
繰延税金資産	709	705
その他	1,128	799
<b>固定資産合計</b>	<b>4,694</b>	<b>5,047</b>
有形固定資産	383	389
無形固定資産	183	311
投資その他の資産	4,128	4,346
<b>資産合計</b>	<b>19,587</b>	<b>20,255</b>

	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
<b>負債合計 ①</b>	<b>6,163</b>	<b>7,115</b>
流動負債	6,075	7,025
固定負債	87	90
<b>純資産合計</b>	<b>13,424</b>	<b>13,139</b>
<b>株主資本</b>	<b>13,118</b>	<b>12,824</b>
資本金	1,513	1,513
資本剰余金	5,397	5,397
利益剰余金	8,166	7,721
自己株式 ②	△1,958	△1,807
その他の包括利益 累計額	27	23
少数株主持分	277	291
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,587</b>	<b>20,255</b>

### 財務諸表に関するトピックス

- ① 負債は、買掛金の減少(662百万円)、短期借入金の減少(653百万円)、未払金及び未払費用の増加(137百万円)などにより、前期末と比較して952百万円減少しました。
- ② 株主の皆様への一層の利益還元と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、自己株式を取得しました。

#### 取得期間

平成26年5月9日～平成26年9月30日

#### 取得した株式数

211,700株

#### 取得価額

151百万円

## 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
売上高	16,978	15,298
売上原価	13,858	12,525
売上総利益	3,120	2,772
販売費及び一般管理費	2,079	2,184
営業利益	1,041	588
経常利益	1,089	627
四半期純利益	829	322

## 通期業績予想(連結)

当第2四半期は好調な業績となりましたが、下期に知名度向上による営業強化と採用強化を目的としたテレビCM放映を行うため、平成26年5月8日に公表しました通期業績予想に修正はございません。

(単位:百万円)

	当期 通期業績予想	前期 通期実績	増減率(%)
売上高	35,000	33,969	3.0
営業利益	2,200	1,656	32.9
経常利益	2,217	1,746	27.0
当期純利益	1,369	1,797	△23.8

## 配当について

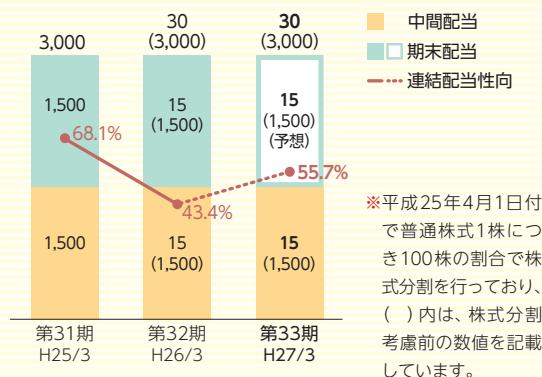
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、安定的で継続性のある配当に配慮し、業績に応じて行うことを基本方針としています。

具体的には、各期の経営成績の状況等を勘案して、配当性向40%を目標に、株主の皆様への利益還元策を積極的に行ってまいります。

当期の中間配当は、公表のとおり1株当たり15円とさせていただきます。

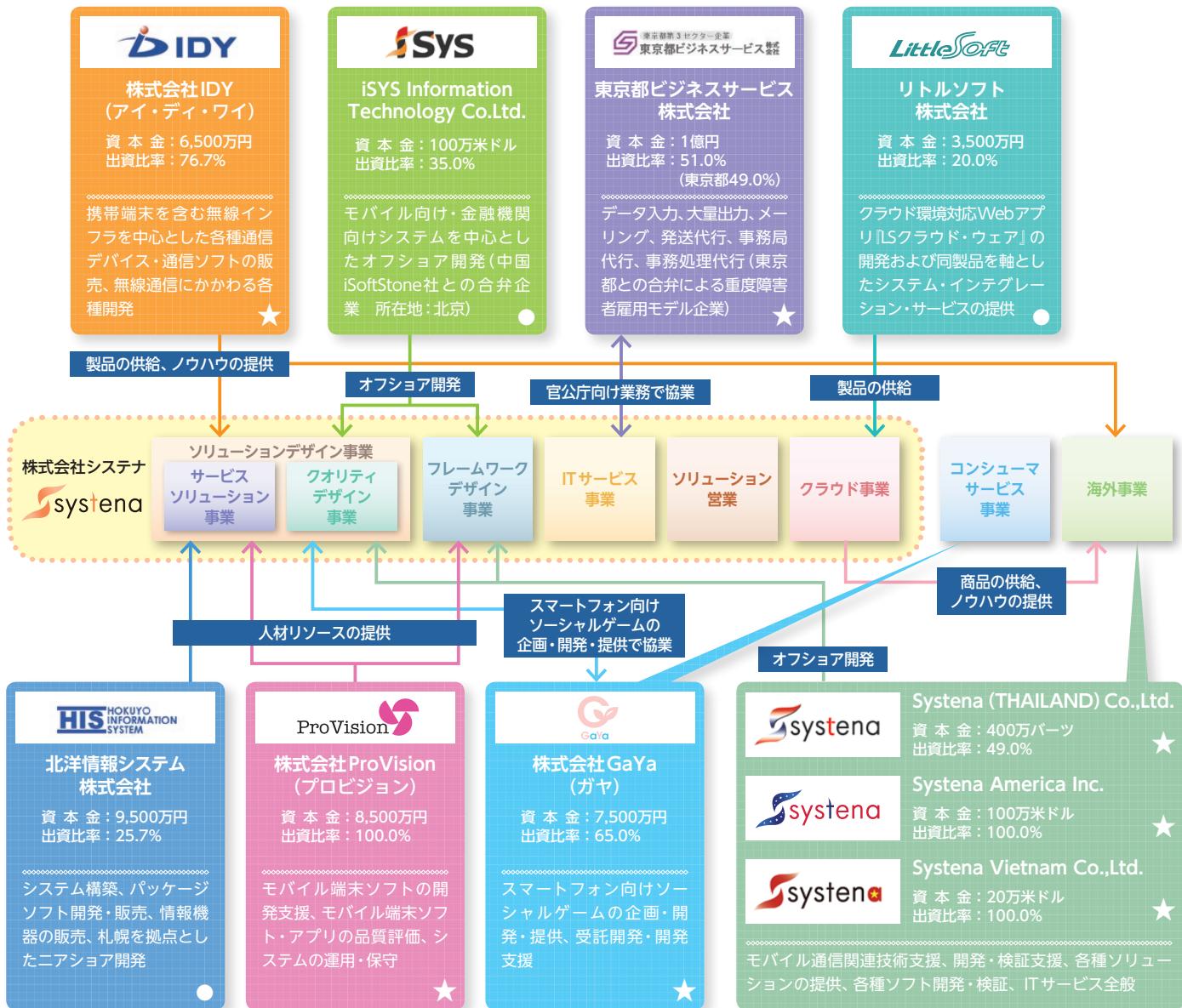
当期の期末配当につきましても、同様に1株当たり15円を予定しています。

## 1株当たり配当金の推移(単位:円)



# グループ会社概要 (平成26年9月30日現在)

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。



★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

# 会社の概況 (平成26年9月30日現在)

## 会社概要

社名	株式会社システナ
設立	1983 (昭和58) 年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体: 1,592名 連結: 2,202名
加盟団体	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) 日本スマートフォンセキュリティ協会 (JSSEC) ユビキタスネット社会推進協議会 Oracle Partner Network 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) itSMF Japan 無線LANビジネス推進連絡会 新世代M2Mコンソーシアム 日本情報技術取引所 (JIET) Tizen Association Partner Program

## 役員

代表取締役社長	逸見 愛親
代表取締役副社長	三浦 賢治
専務取締役	淵之上 勝弘
常務取締役	甲斐 隆文
取締役	国分 靖哲
取締役	杉山 一
取締役 (社外)	鈴木 行生
取締役 (社外)	小河 耕一
常勤監査役 (社外)	菱田 亨
監査役 (社外)	佐藤 正男
監査役 (社外)	中村 嘉宏

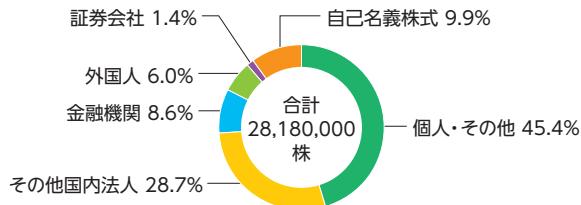
## 株式の状況

発行可能株式総数	92,400,000株
発行済株式の総数	28,180,000株
株主数	10,106名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス株式会社	7,141,200	25.34
株式会社システナ (自己株式)	2,797,900	9.92
システナ社員持株会	1,108,600	3.93
ガヤ・アセットマネージャー有限公司	434,000	1.54
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	402,600	1.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	377,800	1.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	327,600	1.16
国分 靖哲	308,000	1.09
三浦 賢治	282,400	1.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	205,000	0.72

## 所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

<http://www.systema.co.jp/>

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧ください。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電話照会先	TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2317	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.systema.co.jp/">http://www.systema.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

### 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL: 0120-782-031 受付時間 平日 9:00~17:00

### 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 株式会社システナ

本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング14F TEL: 03-6367-3840 (代表) FAX: 03-3578-3012 (代表)
横浜事業所	〒220-8123 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー23F TEL: 045-640-1401 FAX: 045-640-1461
大阪支社	〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローズタワー18F TEL: 06-6376-3537 FAX: 06-6359-7012
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目2番7号 名古屋東宝ビル4F TEL: 052-209-5460 FAX: 052-209-5463
札幌開発センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番地6 札幌小暮ビル5F TEL: 011-208-1012 FAX: 011-208-1015
西日本開発センター 福岡オフィス	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目17番8号 安田第4ビル4F TEL: 092-477-7401 FAX: 092-477-7403
西日本開発センター 広島オフィス	〒739-0015 広島県東広島市西条栄町10番30号 東広島Sea Place 5F TEL: 082-495-1100



この印刷物は、FSC® 森林認証取得用紙と植物油インキを使用して印刷されています。



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA: 環境保護印刷推進協議会  
<http://www.e3pa.com>



この印刷物は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷されています。

※当印刷物の刷版出力に必要な電力量を0.9kWh、11,500部を印刷するのに必要な電力量を88.0kWhと計算しています